

# 分会活動経験交流集会・支部報告

## 動画と共に晴れ舞台へ

分会活動経験交流集会の初日の全体会で、5つの支部がそれぞれの活動について報告しました。取材を重ねて作られた動画と共に仲間たちから語られる経験は、具体的に他の参加者たちが持ち帰って参考にできる貴重なものです。その一部を紹介しします。(文責・見出し共に編集部)

豊島

## 期待のエースが常任に 追いかける新目標



左より宮島さん、原田さん、古賀さん、桑山さん、澤田さん

豊島支部の期待のエース、原田陽弘さんの活動、奮闘を中心にまとめられた動画と共に、5人で登壇した豊島支部の若手のみなさん。後継者対策部長の澤田剛さんより、コロナ禍の中、どうやって組合活動の担い手作りを実践していったのがレジュメに基づき報告されました。

困難な中だからこそ、色々なアイデアが出てきたこと。また、イベントが立て続けに中止になっても、これまで実践していた群会議オルグと訪問活動は感染対策をしっかりと行ない継続的に実施するなど、運動を停滞させることなく取り組んだこと。そのことで、参加した部員一人ひとりが役員としての自覚や自信を得ることができたなど、報告されました。

三鷹武蔵野

## ドローン実演を披露 防災で地域貢献を視野に



全体会場内でドローンを飛ばす

「ドローンを入り口にして建設業に入ってくる若者がいるかもしれない。三鷹武蔵野支部の藤倉智則さん。そしてその場で、支部の仲間と共に、飛ばすのには免許が必要となる400グラムを超えるドローンの実演を披露してくれました。

追いかけていると、あらためて紹介された原田さんは「あこがれていた常任になれてほしかった。今年なれなかったら役員やめてた」などと会場を笑わせていました。そして、支部最大人員のさくら分会に新風をふかす新分会長として紹介された宮島秀樹さん、同じ分会の分会後継者対策部長の古賀龍昌さんの初参加の二人も、壇上で一言ずつあいさ

## 杉並 勢い余って8人で 青年部・後継者で訪問行動



山田さん

【杉並・大工・山田康雄さんの話】後継者対策部長をやった。77年前の広島は街はど

っています。自分たちで企画したイベントを同世代の仲間を訪問して直接伝え、参加を促す活動を継続しています。春の拡大では、後継者対策部や拡大初参加の青年部員で訪問に取り組みました。

活動に参加してもらうには、継続的な呼びかけが重要。青年部、分会と連携して分会の活性化につなげます。

## 「お父さん、体が寒いよ」

大工 中谷 登志夫  
また暑い夏がやってきた。77年前の広島は街はど

前、家族4人で広島市の平和運動に参加した。原爆ドーム、戦災資料館で目にした光景に、小学生の子どもが「お父さん、体が寒いよ」と震えていた事を思い出す。

今年も暑い平和活動に参加する皆さん、コロナ感染が増えている時期、暑さにも十分注意してください。広島も長崎も特に暑い街です。組合を通して、平和とは何か感じてほしい。

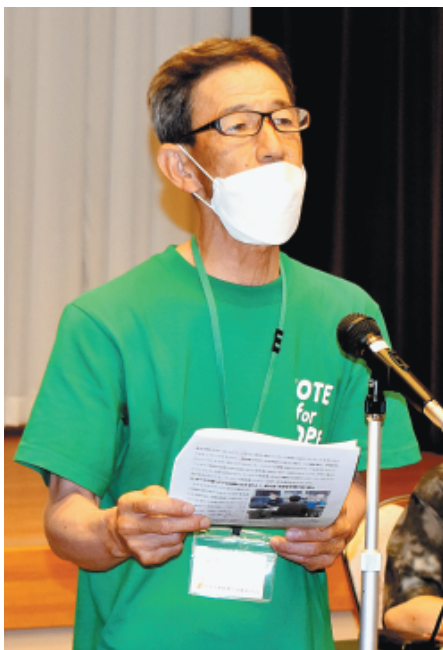


最近TVや新聞で沖縄の小学校2年生の平和の詩「こわいをしって、へいわがわかった」が報道された。子ども心に沖縄戦の実相の絵を見て感じた戦争のこわさ、平和のありがたさを詩に書き、朗読する様に鳥肌

を覚えた。こんな小さな子どもでさえも戦争という事に感心を持っている。世界のどこかで戦争が起きている限り、平和はやってこないだろう。

(江東)

## 「群馬から緊急速報」 支部の要求実現アクション



報告する朝倉さん

ニュー ス番組にまとめられた冒頭の動画は、「小金井国分寺

金井国分寺支部の要求を実現する取り組みに密着した」とのアナウンスではじまり、事業所訪問の場面に。インボイスについて知らせて対話する仲間がしっかりと映し出され

のホテル磯部ガーデンから中継をつなぐという展開に。凝った演出に少し笑いが起きる中、朝倉法明さんから支部の要求実現アクションの取り組みが報告されました。

インボイスについて、集中的な学習会、地域の農協などとの意見交換、支部屋上での横断幕掲示などの多彩な取り組みで小金井市において、インボイスの延期を求める国に対する意見書が、都内で初めて採択されたことが報告されました。

そして、給付金の相談業務などでは、役員から声をかけてもらわなかったら申請でき

なかつたという仲間も多く、組合に対するイメージが変わっていると。フードバンクでは、「普通に食べることに苦しくなっている」状況から、新型コロナだけでなく、国の不

また、「生理的貧困」問題解決のために支部の女性の会が議会に陳情署名を提出したこと、その結果、国分寺市内の小中学校で生理用品がトイレに設置されるようになったとの報告もありました。